

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 **学年・教科** 6年 国語
- 2 **単元名** やまなし
- 3 **実践者（所属）** 田中 啓介
(平小学校)
- 4 **活動を始める前に**



(1) 準備するもの

- 宮沢賢治の作品（学校図書館からパソコンルームへ）
- コンピュータ（パソコンルーム）

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- インターネットを利用して、宮沢賢治について調べたり、作品が読めるサイト（※）を利用して自分が読みたい作品を探したりしながら、作者や作品に親しむ。

5 指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1～5 6～8 9	「やまなし」を読む 資料「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治について調べたり、その他の作品を読んだりする 学習のまとめ	・作品はコンピュータの画面で読むのではなく、本で読むように声をかける (PC上ではあくまでも試し読み程度)

6 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
6・7 8	1. 教師が用意したリンク集で宮沢賢治の代表作や生涯などを調べる 2. 興味をもった作品の本を読む 3. 感想カードを使って、感想交流をする	・SkyMenuの「お気に入りの転送」で送られてきたサイトを利用する ・作品が読めるサイトを利用して読みたい本を絞り込んでから実際に本を読む

7 取り組み後の子ども達の変容や成果

本を読むことに抵抗のある児童もコンピュータでの試し読みの時間を確保することで、作品に興味をもち、宮沢賢治の世界に入り込むことができた。また、本を手にとってから悩むことがないので、読みたい子が待たされる時間がほとんどなかった。

授業時間の中では読み足りない子は、借りて自宅で読むようになり、進んで読書を楽しむ姿が見られた。



8 応用できます！

※作品が読めるサイトについて

著作権の保護期間は「著作者が著作物を創作したときから始まり、著作者の生存間及びその死後50年間は原則」と著作権法で定められている。宮沢賢治は保護期間が終わっているので、このようなサイトを利用することができる。